

6、37、0

(包紙)

「文久元西極月

御書附数通入」

6、37、1

一 当春魚鳥座問屋

之後御銀主引請ニ

被仰付惣代^与して

高嶋屋常右衛門差出シ

何之事ニ有之候所此度

常右衛門宜被成御免

大谷九右衛門忤善右衛門へ

魚鳥座問屋被

仰付候間御時節柄

之儀日々致出勤

御為筋相働可申事